



ALSO プロバイダーコース ～和歌山県立医科大学～

平成 27 年 1 月 24 ・ 25 日開催

Advanced Life Support in Obstetrics (ALSO) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、伸ばすための教育コースです。また産婦人科医のみならずプライマリケア医が分娩を扱えるようになることを意図した訓練でもあります。1991年にACLSとATLSを参考にして、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家庭医学会) によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することを義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムのうち、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しました。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースの終わりにあります。ALSO は分娩室における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者—医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間にわたって行われます。妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つのレクチャーがあります。少人数グループによるワークショップは、肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、症例検討の5つです。オプションル・ワークショップとして会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つから適宜行われます。 プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。 プロバイダーコースのインストラクターになることを希望する場合、さらに一日間のインストラクターコースを受講しなければなりません。

日本では 2008 年 11 月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、多くの方が ALSO コースを修了しました。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、これまで現在あるいは近い将来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。日本全国のすべての地域で、できるかぎり同じレベルの産科医療を維持するために、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場は数多く必要になるでしょう。その足がかりとなるトレーニングコースが ALSO であり、今後日本で普及していくことを願ってやみませんし、またそうなって行くことでしょう。

ALSO-Japan

【第 3 回和歌山県立医科大学 ALSO プロバイダーコース】

主催：和歌山県立医科大学 産科婦人科学講座・周産期医療支援学講座

共催：NPO 法人周産期医療支援機構（OPPIC）

開催場所：〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター2F スキルラボ

費用：15,750 円

対象：主として和歌山県内で勤務する産婦人科医師・助産師

定員：20 名

電話：073-441-0631（担当者：産婦人科 城 道久（しろ みちひさ））

日時：平成 27 年 1 月 24 日（土）、25 日（日）

今回のコースでは参加者の公募はありません。ご了承の程お願い申し上げます。

【会場】和歌山県立医科大学医学部

高度医療人育成センター2F スキルラボ



【アクセス】

JR 紀勢線 紀三井寺駅西口から徒歩 5 分

JR 阪和線 和歌山駅からタクシーで約 15～20 分

和歌山バス JR 和歌山駅または南海和歌山市駅前より「医大病院」または
「医大病院前」バス停下車 約 25 分

車でお越しの方：有料の附属病院駐車場があります（1 時間 100 円）

(注)

駐車場の数に限りがあるため、可能な限り公共交通機関をご利用下さい。



ALSO-JAPAN Jan 2015 Wakayama Medical University Provider Course Schedule

1月24日(土)	1月25日(日)
8:00 AM – 8:30 AM 受付	8:00 AM – 9:00 AM 講義終了後WS K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生
8:30 AM – 8:40 AM オープニング	9:10 AM – 9:50 AM 講義終了後WS N: Perineal Repair 会陰縫合
8:40 AM – 9:30 AM L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性	10:00 AM – 10:50 AM 講義終了後WS G: Malpresentations プレゼンテーション異常・ポジション異常
9:40 AM – 11:30 AM E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例	11:00 AM – 0:20 PM B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例
11:30 AM – 12:30 PM Lunch F: Labor Dystocia 難産	0:30 PM – 1:30 PM Lunch A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
0:30 PM – 1:50 PM 講義終了後WS H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩	1:30 PM – 2:00 PM 復習コーナー
2:00 PM – 3:10 PM 講義終了後WS I: Shoulder Dystocia 肩甲難産	Rest 休憩、試験準備、復習コース、全員写真撮影
3:20 PM – 3:50 PM D: Preterm Labor & PROM 早産と前期破水	2:00 PM – 2:10 PM Closing Remarks
4:00 PM – 5:30 PM 講義終了後WS J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血	2:10 PM – 5:00 PM Megadelivery & Written Examination (実技および筆記試験)
5:40 PM – 6:10 PM C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血	